

平成25年度 第5回 天草地域自立支援協議会定例会報告

1. 日 時：平成25年11月15日（金） 10時00分～11時30分

2. 場 所：天草市民センター2階第1会議室

出席者：すとりーはっと（浜）、障害者支援センターのぞみ（山本）、
障害者支援センターぴゅあ（松本）、就労支援センター苓南寮（岩崎）
天草ポランの広場（平田）、
れいざん（坂本）、星光園（野田）、天草整肢園（溝上）、リンク（田中）
はまゆう（辻川）、天草市（大西、濱崎）

3. 内 容：

議題

（1）事業所の紹介

①就労支援センター苓南寮

・定員 20名、GH 10+7名、生活介護 40名、通所 6名

②すとりーはっと

・利用者 27名、従業員 5名

アイロンプレス作業、農作業、モリング、たまねぎ植付け

③天草ポランの広場

・定員 30名、GH 17名、生活訓練 9名、

しいたけ作りが中心

④障害者支援センターのぞみ

・利用者 13名、従業員 7名

販売、アルミ缶収集、EM菌、農作業、手芸、漬物付け

⑤障害者支援センターぴゅあ

・利用者 15名、従業員 7名

パンの製造販売

（2）個別のケースについて

○障害者支援センターぴゅあ

- ・利用者の傾向として精神障害が増加、就労支援B型利用だけでなく生活支援とも連携をとりながら利用中（2名）
- ・地活の併用など複合で他の事業所利用
- ・計画相談については半分ぐらい作成済
- ・送迎についてはバスセンターから事業所まで行っている
- ・手帳は知的が90%で、知的9名、精神4名、身体1名
- ・年金はほぼ所持しており、卒業後すぐの利用者はいない
- ・勤務時間は基本的には朝8時～16時まで
- ・精神の方の級については2級で勤務時間は短時間にて勤務（計画にて指定）

- ・パン50種、600~700個作成し販売
- ・工賃へ還元し月2万円ぐらい

○障害者支援センターのぞみ

- ・新規利用者が増えない、年々高齢化しているため利用者数が減少
- ・利用者2名は週に2~3回の勤務、11人が週5日
- ・知的の女性で精神もあるようだが、他の利用者等に話しかけたりすると、発作的に回りに危害を加える。投薬についての相談をしたいがよい方法はないか？
→ 計画相談が作成されている場合は、計画相談支援事業所へ相談

○天草ポランの広場

- ・利用者の高齢化、入れ替わりはあまりなし
- ・しいたけ作りがメインで年間通じての作業のため当番制で行っている
- ・利用者増加が見込めない状況であるのだが？
→ 児童の情緒が増えているが、一般就労は難しいので福祉的就労希望が増えてくる。精神、自閉症、ADHDが増加しているので、事業所のスタッフが対応できれば利用者は増加していく見込である。

○すとりーはっと

- ・利用者の実習先の開拓について
→ 中ボツ（障害者就業生活支援センター）を通じて依頼するのがいいのでは
支援学校生徒については賃金発生しないため受け入れは容易である
- ・施設外実習について
→ 他の事業所はしていないとのこと
- ・送迎については行っていない（栖本から利用）

○就労支援センター苓南寮

- ・ADHDありの20歳男性と、通所していた18歳女性が男女関係で問題となったのだが、結局2人を引き離すような形となった
- ・小6の時窃盗で水俣へ、母の愛情不足のため母性への依存がみられた
- ・支援においても精神への対応が難しく、また支援する側の理解もできていなかったためもっと学習できる機会はないか？
→ リンクにて年4回発達障害の学習会を行っている（個別面談もあり）

情緒で特別支援クラスについては小・中学校のみなので、世の中にででからが心配事業所等でも対応ができるように勉強会などを開催し学習する必要がある

平成25年度から一般相談について2市1町で相談支援事業所6ヶ所へ業務委託してあるので、相談等あれば、積極的に活用してほしい（パンフレット配布）